

(様式1)

令和5年度 岩手県立宮古北高等学校 学校評価報告書

校長：佐藤 禎信

総合的な評価	職員の努力と、生徒・保護者・地域の協力により、全項目で達成指標をクリアすることができた。また、生徒のみならず保護者対象アンケートからも本校の学校運営に対し好意的に捉えている項目が多いことから、概ね満足していると推察される。 次年度も継続して生徒一人ひとりを尊重する教育を推進していく。
--------	---

重点目標	達成指標	自己評価		学校関係者評価	改善方策
		評価項目及び実績等	達成状況		
ア 社会で求められる資質・能力を育む授業の充実	・わかりやすい授業を行っていると答えた生徒の割合【85%】	・わかりやすい授業を行っていると答えた生徒の割合【93%】	○	・9割がわかりやすいと答えており、好ましい。	引き続き「いわての授業づくりの3つの視点」を意識した授業づくりを推進する。また、ICT機器を活用しながら、生徒の学びが深まるような工夫を行っていく。
イ 自らの将来をデザインする能力を育成するキャリア教育の充実	・進路に関する情報を十分に提供し、生徒の卒業後の進路を考え、進路実現のサポートをしていると答えた生徒の割合【85%】	・進路に関する情報を十分に提供し、生徒の卒業後の進路を考え、進路実現のサポートをしていると答えた生徒の割合【93%】	○	・サポートが手厚い印象を受けました。 ・市内の様々な職業体験ができることで生徒自らが適性や選択について早くから考えることができています。	進路希望調査や面談等を通じ、生徒の志望を的確に把握し、必要な情報を提供していく。探究的な学びをさらに深め、生徒の情報発信能力を高める。
ウ 豊かな人間性を育む教育の推進	・ボランティアや地域の活動等に参加した生徒の割合【80%】	・ボランティアや地域の活動等に参加した生徒の割合【89%】	○	・地域に出向いて見える景色、触れることのできるもの、出会える人などいろいろな発見を次のステップに繋げて欲しい。 ・とても良いと思います。継続参加やより良い活動へとつながっていくことを期待します。	ボランティアや地域の活動に参加することによって得られる自己有用感や達成感を体験させていく。
エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	・本校はいじめや暴力のない学校づくりに努めていると答えた生徒の割合【85%】	・本校はいじめや暴力のない学校づくりに努めていると答えた生徒の割合【91%】	○	・人を傷つけない環境にあることは好ましい。	積極的に認知し、組織で対応するとともに、初期対応を着実にを行う。アンケートや面談等を通じ、生徒の悩みや不安を的確に把握する。
オ 生徒個々の能力や適性を踏まえた指導の充実	・個々の能力や適性を踏まえた指導をしていると答えた生徒の割合【85%】	・個々の能力や適性を踏まえた指導をしていると答えた生徒の割合【88%】	○	・好ましいこと。	多様な生徒が在籍しているため、職員間の情報共有と学校としての統一した指導を今後も継続していく必要がある。